



ERGON
BIKE ERGONOMICS

TF1 Bike Fitting Tool Saddle

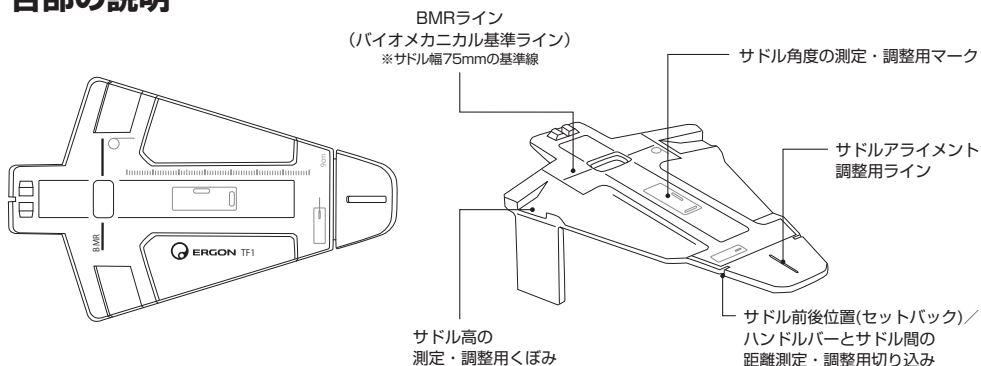
取扱説明書

▲ 重要事項

ご使用になる前に、適切な使用と安全のため、
必ず本取扱説明書をご覧ください。

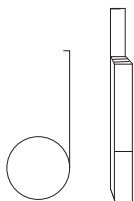
TF1 バイクフィッティングツールの上に座らないでください。本取扱説明書に従わない不適切な使用はバイクやパーツを破損させたり、ケガを負ったりする恐れがあります。いかなる理由があっても、絶対に改造しないでください。改造、およびこの取扱説明書に従わない本来の用途以外のご使用による故障は保証を受けられません。本取扱説明書は大切に保管してください。

各部の説明



使用する物

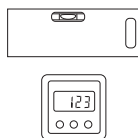
メジャーまたは折りたたみ定規



錘付き糸
(下げ振り)



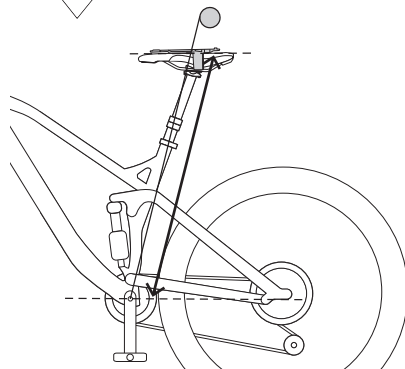
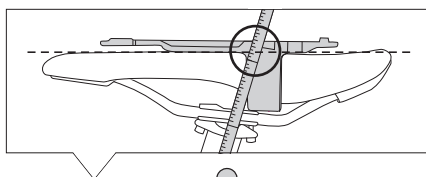
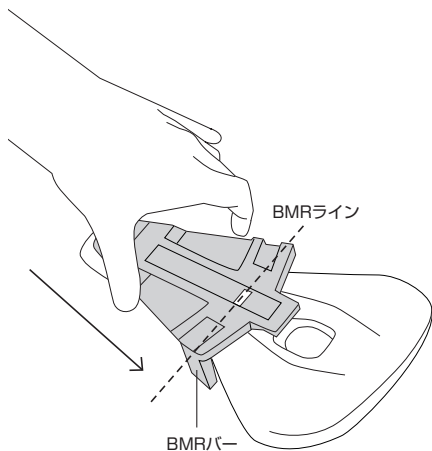
水平器または
スマートフォンアプリの水平器



ペン

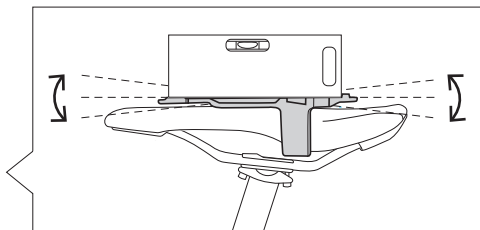
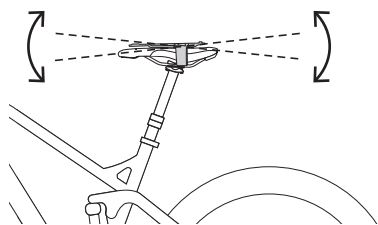


1. サドル高の測定



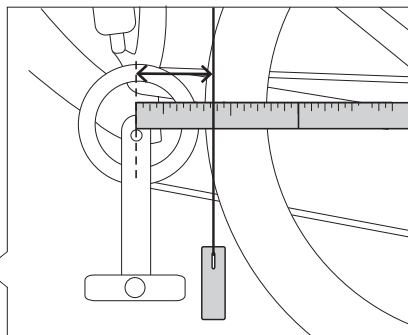
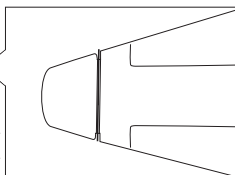
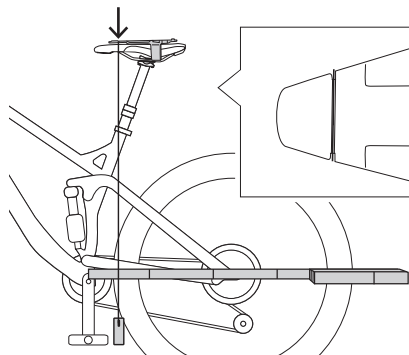
1. ツールをサドル先端側から後方へスライドさせ、両側のBMRバーがサドルの線に接触するまで差し込みます。
ツールがサドル上でまっすぐ配置されていることを確認してください。
2. ボトムブラケット軸の中心にメジャーまたは定規を当て、そこからツールの測定ライン(サドル高の測定・調整用くぼみ)までを測定します。
3. サドル交換時は、測定値を以前の値と比較してください。最適な位置にするためには、サドルの高さを適宜調整し、テスト走行を行ってください。

2. サドル角度の測定



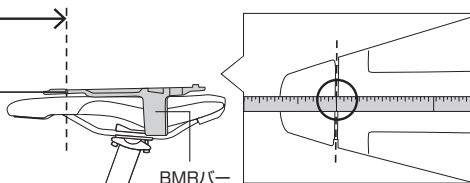
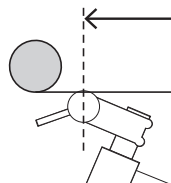
1. 手順 1.1「サドル高の測定」と同様にツールを装着します。
2. 水平器マークの位置に、水平器、または水平器アプリを起動したスマートフォンを置きます。
3. 角度を読み取ります。
4. 必要に応じてサドル角度を調整します。会陰部や性器周辺に強い圧迫を感じる場合は、サドル先端をやや下げてください。それでも改善しない場合は、圧迫軽減構造のあるサドルへの変更を検討してください。

3. サドル前後位置 (セットバック) の測定



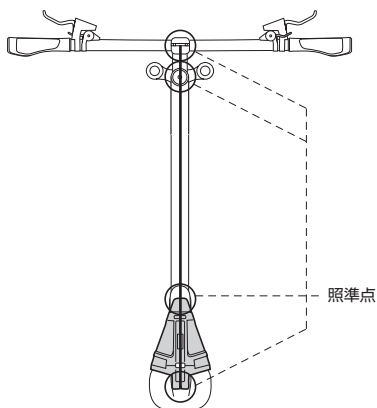
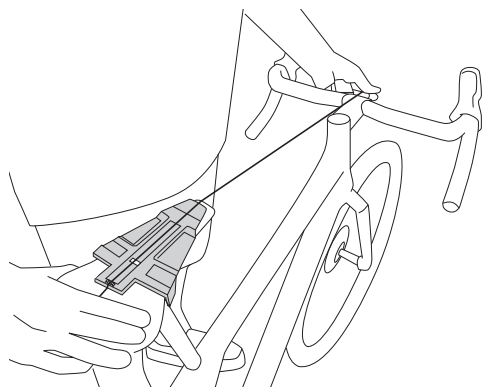
1. 錘付き糸(下げ振り)をツール前面の切り込みに巻き付けて固定します。
2. 手順 1.1 と同様にツールを装着します。
3. 錘付き糸(下げ振り)が自然に揺れる状態にします。垂直に垂れ下がっていることを確認してください。
4. ボトムブラケット中心と錘付き糸(下げ振り)までの距離を測定します。
5. 必要に応じてサドル位置を調整します。

4. ハンドルバーとサドル間の距離の測定



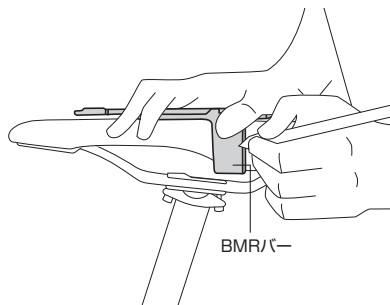
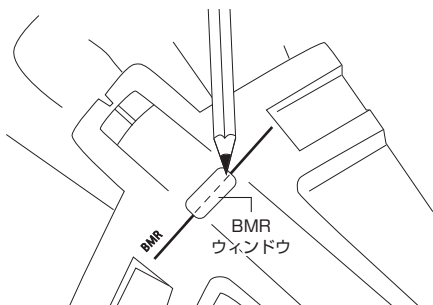
1. 手順 1.1 と同様にツールを装着します。常に BMR バーがサドル縁に接触し、ツールがまっすぐ配置されていることを確認してください。
2. ハンドルバーの中心からツール前面の切り込みまでの距離を測定します。
3. 必要に応じてハンドルバーとサドル間の距離を調整します。
サドルの前後位置だけで調整できない場合は、ステム長やハンドルバーを変えて調整してください。

5. サドルアライメントの測定



1. ツール後部の切り欠きに錘付き糸(下げ振り)を取り付けます。
2. 手順 1.1 と同様にツールを装着します。
3. ツールをまっすぐ保持し、糸をステムの中心に合わせます。ハンドルと前輪が完全にまっすぐになっていることを確認してください。
4. ツール前方の照準点に糸を合わせます。
5. ツール後部の切り欠き、ツール前方の照準点、ステアリングコラムの中心、ステムの中心の 4 点が一直線に並んでいることを確認します。
6. サドルをまっすぐに調整します。

バイオメカニカル基準ラインの描き方



BMR ライン(BMR75)は、サドル幅が 75mm となる位置を示す基準線です。
このラインをサドルに描いておくことで、異なるサドル同士の比較が可能になります。

1. 手順 1.1 と同様にツールを装着します。
2. 「BMR ウィンドウ」から細いペンでサドルにラインを描きます。
3. サドル側面にもマーキング可能です。BMR バーの後ろ側に合わせて印を付けてください。
4. 異なるサドルを比較する際は、サドル後部を同じ位置にできるだけ近づけることが重要です。
BMR ラインを描いておくことで、サドルの前後位置を迅速に判断することができます。

保証期間：

ご購入日から 2 年間：製造上の欠陥による機械部品の不良が対象です。

保証を受けるには、ご購入日の日付の入った領収書が必要です。領収書なしで保証を受ける場合の保証期間は製造年月日から起算させていただきます。お客様の事故などによる外的要因、誤使用、改造、およびこの取扱説明書に従わない本来の用途以外のご使用による故障は保証を受けられません。故障した製品は故障状況を明記して、お買上げの販売店へお持ちください。お送りになる場合の送料はお客様にてご負担をお願いします。